

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 ひまり園		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 21日		～ 2025年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	115	(回答者数) 87
○従業者評価実施期間	2024年 12月 21日		～ 2025年 1月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園の形態の中で、親子関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが興味を持つ遊びに、大人が寄り添いながら楽しさを共有している</li> <li>人と関わる事の楽しさや心地よさを感じられるよう、やってみたい・楽しいと思える遊びの工夫や関わり方などに配慮している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境設定・遊び等について施設内での全体会議やグループ会議等で討議しているが、意見を出し合いながら、今後もよりよい支援に繋がっていくように議論を重ね取り組んでいく</li> </ul>
2	我子の状況が分かり受容していく機会となりやすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方が、目の前で子どもたちの様子を見ることができるので、その場で子どもたちの思いや状況を考えあうようにしている。その中で、関わり方や子どもの思いなども伝えるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからも法人内での研修や外部での研修を積極的に受け、学びの機会を作り支援の強化に繋げていく</li> </ul>
3	保護者支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に3～4回あるクラス懇談を通じて、保護者と子どもたちの様子を振り返り、行動の意味や思いを全体で考えあっている</li> <li>1対1での個人面談を実施しているが、保護者の状況によっては、必要に応じてすぐに対応できる体制を整えている</li> <li>保護者間の交流できる時間の保証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との信頼関係の構築</li> <li>朝礼・終礼時に、療育内容や保護者支援についても振り返りを行い、より充実した支援になるよう検討を積み重ねていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通園であるため、継続した通い方が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方の就労形態や、併行先の行事等の把握ができていくこともある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の就労状況に応じた通い方や時間帯を考えていけるよう工夫していく</li> </ul>
2	保護者支援の難しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が子の出来なさばかりに目が向いたり、他の子と比べることが増える</li> <li>保護者の思いに気が付きにくい時がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒園された先輩保護者の方のお話を聞く機会を設け、少し先の見通しや子育てに対する考え方や向き合い方などを学ぶ機会を設けているが、これからも継続していく</li> </ul>
3	関係機関との機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>併行先の保育所等との連携はとっているものの、十分ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内の療育にも参加してもらおう機会を設け、関係機関と一緒に考え合う機会を作っていく</li> </ul>